

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点⑥〉

### 三郷学の実践

#### 51. 「三郷学BOT」が誕生！

市では、平成20年から三郷の資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など)を再認識し、それらの資源に学び、三郷を取り巻く社会環境の変化を見据えつつ、三郷の歩むべき方向性を常に考え行動する「三郷学」に取り組んでいます。

三郷市のまちづくりにおいては、まずは三郷市のことを広く市内外に知っていただくことが必要となりますので、市ではこれまでも三郷の資源を発掘・発信してきました。また、将来都市像である「きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち」の

実現には、三郷市の市政運営の基本となる三郷市自治基本条例の内容や三郷市総合計画の施策についての理解が深まり実践されることが必要となりますので、それらについて広く発信・周知に努めてきました。

このたび、市では三郷学の取り組みの一つとして、「三郷学BOT※」を誕生させ、ツイッターで三郷学の内容や三郷の資源について発信し始めました。現在、約30の項目を発信していますが、今後は、三郷市のシティプロモーション、子育て、イベント、まちづくり等についての項目も追加する予定です。また、「三郷学検定」の実施に向けた準備も進めています。

これまでの三郷学の取り組みは、市のホームページからもご覧になれます。 **HP9165**

※BOT(ボット)とは、自動的に処理を実行するプログラムのことです。

